



株式会社ジャパンフォーシーズンズ紹介

■会社概要

社名	株式会社ジャパンフォーシーズンズ（略称：JFS）
開業	2016年4月
事業所	本社…埼玉県越谷市、営業所…大阪府大阪市淀川区
対応エリア	日本国内全国、海外（応相談）
グループ会社	PT Jaya Fortuna Sakti Indonesia（略称：JFS インドネシア）※100%出資
JFS Team 構成	バイオ分野：株式会社片岡バイオ研究所、設備技術分野：株式会社東エンジニアリング

■事業概要（JFS Team で対応）

事業内容	バイオレメディエーション技術による環境浄化事業および産業廃棄物処理用プラント建設・修繕事業
技術の柱	・KAB（Kataoka Aggregate Bacteria：片岡複合菌） ・廃水処理/活性汚泥法で使用する各処理槽の建設や各種装置の設置
JFS 役割	・バイオ活用・産廃ゼロ化等プランニング ・設備プロデュース、運転管理マネジメント ・お客様対応フロント

■サービス内容

環境コンサルティング	KAB（バイオ）の活用方法を柱に、廃水処理施設の最適運用の提案・施設や設備の安定運転対策を含む環境対策やコスト削減策等のご提案
バイオ・プラントエンジニアリング	片岡バイオ研究所や東エンジニアリングの専門家知識を踏まえ、KAB 提供の他、必要に応じたプラント建設等の技術提供

■環境対策ポリシー

ポリシー	お客様の立場に立った企業活動のトータルサポーターとして、製造から排水処理までを念頭に、CO ₂ 削減や水環境の浄化・良化・改善に貢献します。 CN、SDGs、UNGC といった世界的な社会の動きに連動した企業の CSR 取り組みにおいて、最適な環境対策を提供し「成果の見える化」と「コスト削減」を実現します。
実現成果	余剰汚泥ゼロ化、廃油等の産廃ゼロ化 等
コスト削減目安	余剰汚泥処分費において▲10%～▲60% 平均▲30%程度

■顧客属性

業種	指定なし ※対象物で判断
JFS 顧客	大手菓子・乳製品・アイス等製造、飲料製造、化学など 多業種との共同分解研究
KAB 利用実績	食品製造、化学、電気・電子機器、精密機械、製紙パルプ、製油、精肉、 屠畜、病院、建設、複合商業施設、ビジネスビル、地方公共団体、学校など
対象物	余剰汚泥、汚染水、廃油、難分解性物質、土壌汚染、残渣
対象施設	廃水処理プラント、グリストラップ、浄化槽、ゴミ処理機

2021年4月現在